

そして、  
島は決闘の聖地となった



下関市・彦島町合併90年記念特別展

# 島流巖

2023

10.6(金) ⇒ 12.3(日)

下関市立歴史博物館

〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号 Tel:083-241-1080

- 開館時間：9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
- 駐車場：一般26台(有料) 身障者用2台(無料)
- 観覧料：一般700円(560円) 大学生等400円(320円)

※( )内は20名以上となる団体料金。  
※下関市内居住の65歳以上の方は観覧料350円。(要公的証明書)  
※18歳以下の方、障害者手帳をお持ちの方は観覧料無料。(要公的証明書)

## 特別展関連講座

「船島から巖流島へ 一島の変遷をたどる」

- 日 時：10月22日(日)・10月25日(水)・10月28日(土)  
各日10:30～11:30・13:30～14:30の2回開催  
※各回定員35名 ※いずれも内容は同じ
- 場 所：下関市立歴史博物館ガイダンス交流室
- 資料代：300円
- 講 師：下関市立歴史博物館 学芸員 松田和也
- 予 約：10月13日(金) 9:30から博物館受付、または電話にて受付開始

## 展示解説会

- 日 時：11月4日(土)・8日(水)・12日(日)・15日(水)・18日(土)・26日(日)  
各日13:30～14:10 ※予約不要・要観覧料
- 場 所：下関市立歴史博物館企画展示室

公式HP▶



Twitter▶



facebook▶



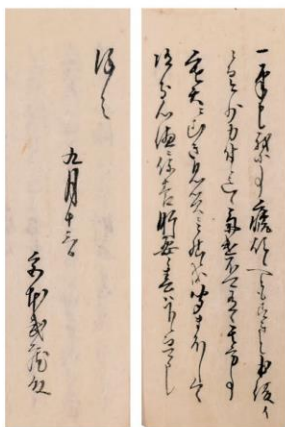
# この秋、武蔵が下関にやって来るー

武蔵自ら削り上げたと言われる  
巖流島モデル



木刀 (松井文庫蔵/八代市立博物館寄託)  
八代市指定文化財

熊本藩主と武蔵の交友  
【初公開！昨年新発見された武蔵資料】



細川光尚書状控 宮本武蔵宛  
御国御書案文  
(永青文庫蔵/熊本大学附属図書館寄託)

稀代の兵法家、ここにあり【修復後、島田美術館外では初公開となる武蔵像】



宮本武蔵肖像 (島田美術館蔵)  
熊本県指定重要文化財

## 巖流島

下関市・彦島町  
合併90年記念特別展

### そして、島は決闘の聖地となった

巖流島は、下関市の観光名所の1つとして知られます。その知名度を全国区に押し上げたのが、江戸時代初期に行われたとされる宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘です。2人の生涯や決闘の経緯には不明な部分が多いものの、誰もが知る出来事として語り継がれてきました。

また、江戸時代の巖流島は、風光明媚な島としても注目を浴び、海峡を行き交う人々の目を楽しませました。しかし、明治時代以降、景勝地としての島の様相は一変。時代の移り変わりに合わせて、防疫や造船など様々な役割を果たすこととなりました。

本年は、下関市・彦島町の合併から90年という節目の年になります。本展覧会ではそれを記念して、武蔵・小次郎の決闘とその伝播や、決闘の舞台となった巖流島の歴史を紹介します。



西国名所之内廿四 与治兵衛岩 巖流嶋  
(下関市立歴史博物館蔵)

海峡の風光明媚な名所巖流島



巖流島絵葉書 (個人蔵)



下関港修築計画平面図 (下関市立歴史博物館蔵)

消滅する「巖流島」

変わりゆく島の面影



担当: 当館学芸員  
松田 和也

島田美術館が所蔵する有名な「宮本武蔵肖像」や、昨年新発見され、初公開となる武蔵資料などは必見です。また、決闘の舞台となった巖流島の知られざる歴史にも迫ります。

#### 《交通のご案内》

##### ■公共交通機関

JR下関駅	長府~小月~宇部~秋芳~長門~西市方面行バス (所要時間25分)	バス停「下関駅前」	バス停「彦島町長府」 (徒歩10分)	下関市立歴史博物館
JR新下関駅	バス停「長府駅前」から下関方面行バス (所要時間約20分)	バス停「彦島町長府」		
JR長府駅	バス停「長府駅前」から下関方面行バス (所要時間約10分)	バス停「彦島町長府」		
■自動車	下関IC	壇の浦方面へ進み、国道9号線経由 (所要時間約20分)	長府方面へ進み、国道2号線経由 (所要時間約15分)	



## 下関市立歴史博物館

〒752-0979 山口県下関市長府川端二丁目2番27号  
TEL.083-241-1080 <https://www.shimohaku.jp>